安否報告は自ら行う

スマホアプリで　防災訓練参加！

今年度は阿智村一斉防災訓練、予期せぬ災害「地震発生」に対して、浪合自治会においては、安否確認と情報収集を優先した訓練を行いました。前年度より準備をしていた「スマートフォン　アプリ」を使用した初めての取り組みです。自治会事務局は下より地域の一人ひとりが参加することで成り立ちます。**安否報告は自ら行う**の趣旨で創られた仕組みです。４２０余名中３５０余名の登録で、８４％の協力が得られました。６時４０分自治会からの一斉配信により安否の報告依頼が発信された後、１０分後には、１００件、２０分後に２００件そして６０分後では、３００件の報告が確認されました、未登録などで報告できない人は、地区の安否確認責任者へ電話等他の手段で自分の安否を報告することで責任者が代行登録します。特徴は、**家族間の安否の確認が可能**のことから、離れている時の状況も把握できることです。多くの人が使用することで短時間に迅速な安否確認が可能になります。終了後、各地区の安否確認責任者など参集した皆さんからの意見を集約する中で、アプリ操作上の改善点や訓練の内容について課題が出されました。様々な機会をとらえて広めていきたいと思います。

マニュアルも新たに

昨年度より協議を重ねてきました自主防災会組織も修正しつつ発足しました。訓練に併せて、各担当者毎で防災センター内の防災機材や避難所開設用の用品・用具などの点検・確認を行い有事に備える、実践的な活動ができました。今後は、少人数でもできる機動性のある組織づくりにつなげていきたいと思います。

第　２９　号
発行浪合公民館
編集浪合公民館広報部

浪合の人口と世帯

人	
男	人
女	人
世帯数	戸

（令和4年11月現在）

御幣餅で敬老を祝う

毎年、敬老会の時期に合わせて「りんどうの会」では、メンバーの手作り御幣餅を対象者の自宅まで届けて「笑顔拝見・・」の活動を行いました。この日は朝からエゴマのタレ作りから始まり、炊飯・御幣型作り・素焼き・エゴマで味付後焙りで出来上がりです。７５歳以上の方１００人分余を作りました。この他、年を通して、コミセン内外の清掃と、「えんばな」周辺の草刈り、親睦を図る活動を行なっています。興味のある方の参加を歓迎いたします。

浪合小学校大運動会

全力 強く 美しく

雨雲を吹き飛ばし、晴天の下に万国旗を靡かせた浪合グラウンド、大勢のご家族の応援、面前での全力疾走に歓声がわきました。園児もダンスで参加、来年はいっしょに走ろうか。

林間学習も・・

浪合小学校 四・五・六年生

１０年、２０年と経って育った木、自然の壮大な力を感じ、見上げるほどに空高く育った、松・ヒノキなど林立する中で、森の指導員から木々の説明を受け、どの木を倒すか、どの方向に倒すか、倒れるか判断が難しい。全てが安全第一、手に伝わるノコギリの感触で実感できる木の大切さです。

自然の中で楽しみいっぱい

森の散策、落葉広いから笹ふね流し好奇心いっぱいの子供たち、普段ひとりでは関わる機会が少ない中、この日ばかりは、やりたい放題で笑顔がいっぱいのひと時でした。今後も自然を生かした継続的な催しが予定されています。

提供「野あそび広場　てんてん」

浪合戦没者慰霊祭

慰霊碑前において導師として尭翁院寺澤善周住職を迎え、般若経の読経の内で、遺族・自治会役員の参列で厳粛に執り行われました。近年遺族の減少のため、昨年から自治会主催で行われています。

今年も効果大！

農家から　感謝の賞賛

Team Namiai　追い払い隊

地域力　共有と結束

ベスト新調で　団結へ

今年は十三名の精鋭が地域を守る意識から、パトロールが始まりました。鳥獣などから農地のみならず、地域の安全安心を見守ることになり、進化をしています。一日三人が三回を基本に村道などを経て圃場の巡回を行いました。被害など発見に至っては、スマートフォンの鳥獣害発見通報アプリを利用し、その場で情報の発信を行い、他の隊員と共有することで、リアルタイムに集結が可能になり、追い払いに威力が増します。多くの人を見せるかがポイントになります。

三年目になる活動は明らかに効果が出てきています、地域の農家から活動に理解を頂き、賞賛を頂く程の結果がでて、やりがいがありました。

今後は、更に進化をすることで、地域のコアとして活動できるような仲間づくりにつなげたいと思います。

編集後記

ここに、第二十九回公民館報「なみあい」を発行する運びになりました。次回は三十回の節目になります。これも浪合の皆さんのご協力のお陰と感謝申し上げます。今回の館報にも載せておりますが本年の浪合地区において行われた防災訓練は、初めて試みたスマートフォンのアプリを使った「安否確認と情報収集」でした。理解していたつもりが、当日操作をしてみますと思わぬ戸惑いがありました、特に各責任者の皆さんお疲れさまでした、今後の訓練に期待したいです。

今年も後半、広報部では、まだまだコロナ禍ではありますが、可能な限り各種行事、イベントなどの取材に伺います情報提供など、ご協力をお願い申しあげます。

雅